



春江中だより

【は】っけん・気付く つなが【る】 【え】がおを創り出す



春江中学校教育目標

- 1 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 2 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 3 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

梅花のごとく 未来に花を咲かせよう

校長 横枕 耕史

校庭の梅の花が次々と咲き、春の兆しを感じる季節になりました。年頭から続く能登半島地震の報道では、悲しみに包まれた喪失感や絶望



感を抱えた被災者の方々の悲しい姿が伝えられています。その中で、復興に向け困難な現況から一歩を踏み出す方の姿を見て、心揺さぶられました。複合的な課題が山積していても諦めなくて「目標」をもって取り組まれる方々を応援したい気持ちで一杯になりました。自分にできる支援や応援を続けていきたいと思えます。

さて、私たちにとっても「目標」は、自分の人生を生きていく上で、必要かつ大切なものだと考えます。当然ですが目標は自分で立てなければ意味はありません。人に言われた目標ではその気になれず、モチベーションも低くなり、成果が出にくいものです。自分が「ここまでになりたい。こうしたい。」と**目標を立て、その実現のため、具体的に何をどのようにしていくか小さな作業や課題（タスク）を明確にし、一つずつ実行してクリアすることが大切です。**ただし、目標におかたって行動することには残酷な面もあります。他人と比べ自分はうまくいっていないとか、自分はもっとできているはずなのにとか、自信をなくし自分はダメなのではないかと卑下してマイナスに気持ちが傾き「毒」を生じることがあります。その毒を感じスランプ状

態に入っているときこそ、「ここまでやれたじゃないか。楽しかったからいいじゃないか。失敗したことで新たな課題が見つかったじゃないか。」など**ネガティブな気持ちをポジティブな言葉に変換することが大切です。**また、「毒」を感じている人に「なんでできないの？どうして失敗するの？」などと決して言うてはいけません。一番悔しいのは本人自身ですから、逆に「**この失敗で何を学んだのか？**」ということを明確にさせ、次にどうすれば良いのか思考を巡らせ、深く考え、新たな目標を立てて次のアクションに向かうようにサポートしてあげることが大切なのです。人生での失敗を学びに変えるポジティブな気持ちが大切です。まさに「**失敗は成功のもと**」、「**失敗は成功の種**」、「**失敗は成功の母**」と言ったことわざのとおりなのです。

しかし、目標に向かって変化していくことを求めず、今のまま現状維持でよいと考える人が多いのも実情です。現代は変動的で不確定であり、さらにはSDGsをはじめ多岐にわたる社会問題を抱え、複雑で曖昧な先行きの読めない時代です。この状況下で行動しないということは、現状維持どころか衰退を意味することになるかもしれません。

今を生きる私たちは、**未来を主体的に生きる**ために、それぞれが自分の目標を掲げ、その達成に向けて計画的に取り組み、失敗を学びに変えながら、常にチャレンジしていけば、寒い冬をじっと耐え美しい花を咲かせる梅のように、この困難な時代に希望の花を咲かせることができ、**未来につながると**信じています。